

## 全国連合退職校長会への29年度加入状況調査の結果について

(平成29年9月現在)

平成29年度の全連退加入状況調査の結果をお知らせいたします。今後の活動や会員の入会等にご活用ください。調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

### 1 29年度までの会員数・会費納入数の推移について

年度	会員数	会費納入人数	差	災害・免
H23	100,588	92,678	-7,910	1,027
24	92,606	92,275	-331	685
25	94,327	91,532	-2,795	420
26	93,799	90,796	-3,003	200
27	91,636	89,625	-2,011	200
28	93,769	89,322	-4,447	200
29	90,959			

※ 各年度会員数とは8月末の会員数

※ 会費納入数は各年度納入数で、29年分は未定

### 2 新入会員の地区別入会率

	27年度	28年度	29年度
北海道地区	42%	36%	29%
東北地区	77%	78%	81%
関東甲信越地区	70%	68%	69%
東海北陸地区	87%	77%	86%
近畿地区	55%	54%	63%
中国地区	81%	79%	80%
四国地区	92%	98%	93%
九州地区	85%	85%	87%

3 28年度末退職者数・・・5,604名 うち入会者数・・・3,914名 入会率70%  
入会率85%以上の県・・・29県(団体)

4 28年9月～29年7月末の間の途中入会者数・・・85名 ※入会者より退会者21倍  
" ~ " 途中退会者数・・・1,753名  
" ~ " 逝去者数・・・1,154名 ※逝去者82名減

### 5 準会員・賛助会員の制度

- ・有(18県) 無し(34県) 昨年より 6県の減
- ・有18県の総数・・・5,551名が加入 昨年より 39名の減

## 6 入会のお誘いにあたって、どのような手立てを講じたか

(1) 人脈を生かし、リーフレット・会報・情報等を活用、個別訪問・学校訪問に努める。

- ・東北地区 (秋田、宮城、福島)
- ・中国地区 (鳥取)
- ・関東甲信越地区 (茨城、埼玉、神奈川、長野)
- ・四国地区 (香川)
- ・東海北陸地区 (富山、石川、岐阜、静岡)
- ・九州地区 (佐賀、宮崎、鹿児島)
- ・近畿地区 (滋賀、和歌山)

(2) 現職との交流を生かす

- ・東北地区 (秋田、宮城、福島)
- ・近畿地区 (奈良)
- ・関東甲信越地区 (神奈川、長野)
- ・九州地区 (宮崎)

(3) ホームページ等参考に

- ・関東甲信越地区 (埼玉)

(4) その他

秋田・・・事務局が学校訪問をする等、積極的に動いた。

山形・・・退職前からきめ細かなかわりを工夫していく。

福島・・・県及び各市校長会長への入会依頼。

栃木・・・会費免除会員の見直しを行い、会費納入会員に戻っていただいた。

埼玉・・・本県独自の「入会案内」の作成配布。活動の重点に「全員加入」の目標。

千葉市・・・体調不良や親の介護等を除き、毎年ほぼ100%入会している。

東京・・・会員の高齢化に伴い、物故者・退会者が多い。また、再任用制度等、定年後の処遇が整備されている状況から、入会者増強が困難になっている。入会増に向けて、対策を検討し努力している。

岐阜・・・本部・各支部の役員が丁寧に勧誘し、退職校長会の一員となることが当たり前になるように働きかけている。

静岡・・・何度も学校に足を運ぶ。校長研修会終了後に退職予定者に集まってもらい入会を呼びかける。現職と退職者の懇親会を設ける等。

奈良・・・昨年度より、「現職会員」を募っている。ただし、現職校長なので会員数には入らないが、今後本会の知名度が上昇し会員増につながると思われる。

<資料>

### 組織の拡充・活性化に努めよう

#### =入会へのお誘い=

- 1 人脈を生かし、“傾聴“に心がけながら戸別訪問・学校訪問に努めよう。
- 2 会報・全連退情報・リーフレット等を活用し、活動の理解に努めよう。
- 3 地区ごとに魅力ある企画や対外的にも見える事業の推進を通し、生涯学習の場として活性化を図ることに努めよう。
- 4 現職との交流・懇談の機会をより一層活発にしよう。
- 5 早期に退職予定者の把握に努め、地域独自の「入会案内 (仮称)」を作成してみよう。
- 6 現職を準会員・賛助会員とする制度を考えよう。
- 7 全連退発行の図書・ホームページ等を活用しよう。

